

大和地区日中友好協会だより

令和5年度 第5号 (2024年1月1日 編集・発行)



(編集) 事務局

日中友好でアジアに平和と繁栄を

衆議院議員・大和地区日中友好協会相談役 太 崇志

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

大和地区日中友好協会の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。平素より我が国と中国の友好親善にご尽力いただいている皆様に、心より敬意と感謝申し上げます。また昨年は貴協会名誉会長で元大和市長の土屋侯保先生からのご縁で貴協会の仲間に私を加えていただき、厚く御礼申し上げます。

両国が恒久的な友好関係を構築すると約束した日中平和友好条約の締結から、昨年は45周年でした。この間、両国を取り巻く環境は大きく変わり、近年は米中対立の激化が一番の懸案となっています。最大の貿易相手国・中国と同盟国・米国との狭間で、日本は中国との関係改善と共存の方針を明確に打ち出すべきです。具体的には、中国を既存の国際秩序に組み込む為に、2021年に中国が申請したTPP（現在の包括的・先進的環太平洋経済連携協定）への加盟を日本が強く後押しすべきです。中国に高い加盟水準を満たした上での参加を促すことにより、中国と相互利益を確保しつつ共存をめざす意志を明確に示すことが肝要です。更に、不透明な軍事拡大を続ける中国と偶発的な武力衝突を避けるべく、日本の防衛力の適切な整備と、日中防衛当局間のホットライン運用確立が求められます。

そして何よりも、日中平和友好条約の原点に立ち戻ることが大切です。両国は「いずれの地域においても覇権を求めべきではなく」（同条約第2条）、「すべての紛争を平和的手段により解決」（同第1条）するため外交の努力を十分に尽くしていく必要があります。

私の政治家としてのライフワークは平和を守る為の外交安全保障です。日本の国益を確保し、アジア全体の平和を見据えた構想を打ち立て、引き続き議員外交と国際社会への働き掛けを重ねてまいります。そして皆様と共に草の根の市民交流を推進して、両国が手を取り合ってアジアの平和と繁栄の為に協力していく年にしていきたいと思います。

末筆ながら、石井功会長を中心に大和地区日中友好協会が益々発展されますこと、会員の皆様のご多幸ご健勝を心よりお祈り申し上げます。

ご案内 「セミナー 中華文明と日本」 (全5回)

4千年にわたる中華文明を概観し、その間における日本文化への影響および日本文化との比較等について考えます。

実施日 第5回 (最終回) 1月21日 (日) 生涯学習センター大会議室

午後2時～3時30分迄。講義と質問そして意見交換を行います。

講師 土屋侯保先生 (本会名誉会長・元大和市長)

まだ申し込みをされていない方は、右にご連絡を。石井 ☎ 080-5026-0177

🌸 ご報告

1 「秋季講演会」は急遽延期に！

11月26日に予定していた講演会は、直前に講師の宇都宮先生が体調を崩されたため中止としました。参加予定者全員にご連絡できないため、第1部の漢詩朗詠は予定通り行い、講演に代えて今年の「生涯学習センターまつり」参加企画のうち特別展示のテーマ「日本と中国の文学」について石井が解説しご案内をしました。近代に至るまで日本の文学は中国文学の影響を強く受けてきましたが、その事例等を紹介したのです。13名の一般参加者からご意見やご質問を多数いただき、スタッフからも発言があつて、和やかにひと時を過ごすことができました。なお、宇都宮先生の講演会は来年度前半に行う予定です。

2 日中談話会

12月9日 (日) 午後、市民活動センター1階会議室で開催しました。講師は10月に県日中訪中団の一員として「瀋陽・北京訪問団」に参加した吉田浩二さん。「神奈川県・遼寧省友好提携40周年記念行事」の様子や、県下高校の生徒7名が東北育才外国語学校を4年ぶりに訪問し同校の高校生たちと交流した様子などを報告していただき、これに続いて「変わりゆく中国のこれから」と題し、近年の中国国内における政治的・経済的状況を解説していただきました。

🌸 3月までの催物

1, 「第36回生涯学習センターまつり」への参加

2月17日 (土)、18日 (日) の両日開催され、本会もこれに参加します。今年度の活動報告を展示し、レジュメ、チラシ等を配布するほか、特別展示として「日本と中国の文学」を予定しています。当企画の準備等に参加して戴ける方、是非お申し出ください。一緒に、まつりを盛り上げましょう。

2 新春恒例の「春節の集い」は、今春も行わないことに

前号でもご案内しましたが、恒例の「春節の集い」は今年も実施を見合わせます。ご了承ください。

🌸 来年度の計画

今年度は例年になく行事が多く、役員はじめご尽力いただいた会員の皆様にご負担をかけてしまいました。11月と12月の常任理事会において1年を振り返り今後の企画について話し合った結果、①行事を絞り、年5回の日中談話会を軸にして計画をたてる。②談話会は会場を生涯学習センター会議室に移し、「学びの輪支援事業」の支援を得て開催する。③市民の皆さんに参加を呼びかけ、共に日中の歴史や文化を学び、良好な日中関係に思いを馳せる機会にしよう。などの方針を確認しました。 (事務局)